

第15回 法人会全国女性フォーラム新潟大会の報告

令和3年11月16日(火)に第15回法人会全国女性フォーラム新潟大会が「新しい形、新潟から。」～新時代令和に羽ばたく女性の力～をキャッチフレーズに新潟市で開催され、全国から女性部会員を中心に約1200名が参加されました。徳島県からは4ブロックからの参加があり、そのうち徳島法人会女性部会では3名が参加いたしました。

当日は、天候にめぐまれ朱鷺メッセの会場には、絵はがきコンクール作品が展示され、物産展も大変盛上り、新潟県女性部会・法人会の方々のきめ細やかな歓迎を受けました。

第1部は文化庁前長官宮田亮平氏の「ときめきのとき」と題した記念講演でした。

広い会場の後ろの階段からの登場。スクリーンには「むずかしいことをやさしく」「やさしいことをふかく」「ふかいことをおもしろく」井上ひさし氏の言葉が映されていました。

その後、金工作家の宮田氏が選定委員をされたオリンピックのエンブレムやメダル、トーチ、世界遺産コラボのポスター、三越の看板など私達が目にしたことのあるデザインを次々とスクリーンに紹介。演台まで1時間をかけて会場を歩きながらの講演でした。常識を壊しながらおもしろくやさしく話は続けました。膨大な仕事を「鼻歌まじりの命がけ」をモットーに続けてこられたそうです。会場が暖かい雰囲気にもまれて講演が終わりました。

第2部の大会式典では、主催者挨拶、来賓祝辞に続いて新潟法人会女性部の4ブロックの活動がスクリーンで報告されました。

大会宣言では租税教育など税の啓発活動と社会貢献活動の一環として取り組んでいる「税に関する絵はがきコンクール」を更に充実させていく。また新型コロナウイルス感染症により、大きく生活が変化し新たな暮らし方が求められるようになったので、女性部会もこれまでとは異なる「新しい形」を模索。新潟大会においては「今、何をやるべきか！」を共に真剣に考え、更なる飛躍をめざす契機となるように、そして女性らしい豊かな感性からの発想を大切に、変化にしなやかに対応し、自身の活動のさらなるクオリティ向上へと繋げていく。と宣言されました。徳島法人会の今後の取り組みに大変参考になりました。

第3部の懇親会では、コロナ渦にもかかわらず女性部会の心温まるおもてなしを受けました。新潟の特産品を使用したお弁当、舞台の上では太鼓の演奏が賑やかに始まりました。最後に来年の開催地の静岡から60名の会員の方が茶摘み姿で「ちゃつきり節」を披露され盛上り来年4月14日の開催を発表されました。

展示ホールでは、税に関する絵はがきコンクールの全国の優秀作品が展示され、高松局管内では、徳島法人会から令和元年と令和2年の作品が名前を伏せられ展示されていました。

以上、とても有意義な新潟大会でありましたことを報告させていただきます。

今後も他の法人会の良いところを吸収し、よりよい活動を目指していきたいと思っております。